

**XP-002205030**

**AN - 1974-27855V [15]**

**CPY - KOMS**

**DC - M27**

**FS - CPI**

**IC - C21C1/10 ; C21D5/00**

**MC - M24-C05 M27-A03N**

**PA - (KOMS ) KOMATSU SEISAKUSHO KK**

**PN - JP49002712 A 19740111 DW197415 000pp**

**- JP51044689B B 19761130 DW197652 000pp**

**PR - JP19720042263 19720428**

**XIC - C21C-001/10 ; C21D-005/00**

**AB - J49002712 The title iron contg. C 3.3 - 3.6, Si 2.2 - 3.0, Mn 0.5 - 0.9, Ni 0.7 - 1.0, Mo, Cu 0.3 - 0.6 each, P <0.02, and S <0.01 %, spheroidized at 1500 - 600 degrees, inoculated with Fe - Si to obtain a pearlite base ## suitable for a clutch of a press or a brake disk plate.**

**IW - ABRASION RESISTANCE CAST IRON DEGREE IRON SILICON**

**IKW - ABRASION RESISTANCE CAST IRON DEGREE IRON SILICON**

**NC - 001**

**OPD - 1972-04-28**

**ORD - 1974-01-11**

**PAW - (KOMS ) KOMATSU SEISAKUSHO KK**

**TI - Abrasion-resistant cast iron - spheroidized at 1500-1600 deg. C and inoculated with iron-silicon**



特 許 願 (1)

昭和 47.4.28

特許庁長官 井 土 武 久 様

1. 発明の名称 耐摩耗鋼鉄

2. 発 明 者

住 所 石川県小松市杉町3の98

氏 名 梶 岡 満 郎 (ほか1名)

3. 特許出願人

住 所 東京都港区赤坂2丁目3番6号

名 称 (123) 株式会社 小 松 製 作 所

代表者 河 合 良 一

4. 代 理 人

住 所 東京都港区芝罘町13番地 セイコー屋の隣

氏 名 (7146) 木 原 正 幸 (ほか1名)

電話東京 (03)-504-1075~7番

5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書 1 通  
(2) 図 面 1 通  
(3) 要 約 1 通  
(4) 願 書 1 通

47 042263

方式 特 許 審 査

明 細 書

1. 発明の名称 耐摩耗鋼鉄

2. 特許請求の範囲

溶製後の溶湯成分がC: 3.3~3.6%, Si: 2.2~3.0%, Mn: 0.5~0.9%, Ni: 0.7~1.0%, Mo: 0.3~0.6%, Cu: 0.3~0.6%, P<0.02, S<0.01、残部はFeからなり、これを溶湯温度1500~1600℃に調整後球状化処理しFe-Siにて黒鉛化接種を行ない黒鉛形状が球状で基地がパーライトからなることを特徴とする耐摩耗鋼鉄。

3. 発明の詳細な説明

本発明はプレス、クラッチ、ブレーキディスク、プレート材に用いる耐摩耗鋼鉄に関するものである。

従来のクラッチ、ブレーキ用ディスクブレード材料は普通鋼鉄または合金鋼鉄で基地がパーライトの片状黒鉛組織のもの、例えばC: 3.3~3.7%, Si: 1.1~1.6%, Mn: 0.6~1.0%, Ni: 1.0~2.0, Cr: 0.3~0.6%, Mo:

(1)

① 日本国特許庁

## 公開特許公報

① 特開昭 49 2712

④ 公開日 昭49.(1974) 1.11

② 特願昭 47 42263

② 出願日 昭47.(1972) 4.28

審査請求 有 (全4頁)

片内整理番号

⑤ 日本分類

6659 42

10 J173

6378 42

10 S2

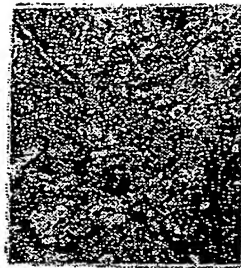
0.3~0.6%, P<0.01, S<0.012、残部はFeからなり、これを溶湯温度1500~1600℃に調整後接種したものであつた。しかし、この鋼鉄は耐熱亀裂性および耐熱歪み性が低下していた。

本発明は上記の事情に鑑みなされたものであつて、その目的とするところは、溶製後の溶湯成分がC: 3.3~3.6%, Si: 2.2~3.0%, Mn: 0.5~0.9%, Ni: 0.7~1.0%, Mo: 0.3~0.6, Cu: 0.3~0.6%, P<0.02, S<0.01、残部はFeからなりこれを溶湯温度1500~1600℃に調整後球状化処理しFe-Siにて黒鉛化接種を行ない黒鉛形状が球状で基地がパーライトからなり、耐熱亀裂性ならびに耐熱歪み性のすぐれた耐摩耗鋼鉄を提供することにある。

以下、本発明を図面を参照して説明する。本発明は溶製後の溶湯成分がC: 3.3~3.6%, Si: 2.2~3.0%, Mn: 0.5~0.9%, Ni: 0.7~1.0%, Mo: 0.3~0.6, Cu: 0.3~0.6%, P<0.02, S<0.01、残部はFeからなり

(2)

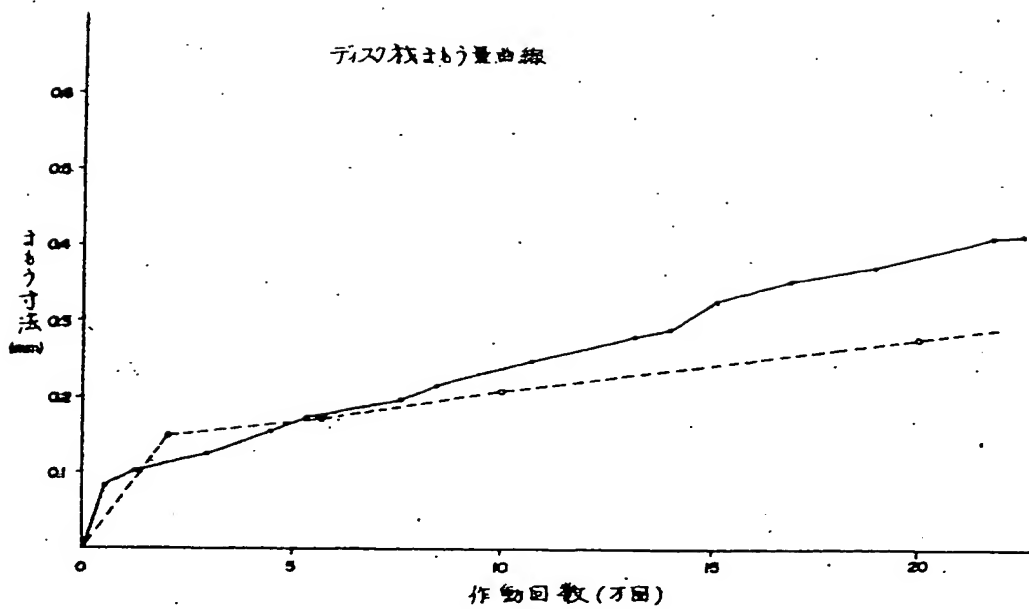
第 1 図



第 2 図



第 3 図



特開 昭49 2712 (4)

6. 前期以外の発明者、代理人

(a) 発明者

住所 石川県小松市舟津町タの88

氏名 緒 原 二 英

(b) 代理人

住所 東京都港区芝罘平町13番地  
セイコー虎の門ビル

電話東京(03) 504-1075〜7番

氏名 (7581) 派 本 忠

